

資料 2 平成 31 年 4 月稼働の必要性

1. 三雲管内児童生徒数推移の見込み

(H26. 5. 1 現在)

年度	児童数	生徒数	児童生徒数計	許容範囲 からみた増加率
H26	957	426	1, 383 人	100. 0%
H27	1, 023	438	1, 461 人	105. 6%
H28	1, 053	476	1, 529 人	110. 6%
H29	1, 111	494	1, 605 人	116. 1%
H30	1, 148	507	1, 655 人	119. 7%
H31	1, 185	506	1, 691 人	122. 3%
. . .				
H36	1, 266	614	1, 880 人	135. 9%

※食数は、上記数値に教職員数 100 食程度が加算される。

※学校支援課調査『平成 26 年度以降 10 年間の児童生徒数の調べ』に基づく

⇒ 修繕や備品移設・更新などを図っても、平成 30 年度までの運営（許容範囲 120%まで）が限界と考えている。

2. 課題：三雲学校給食センターにおける平成 30 年度までの対応

衛生管理や食物アレルギーをもつ子どもの増加など、学校給食における業務は年々複雑化している一方、三雲においては施設の老朽化や食数増加が見られ、早急な作業スペースの確保が求められているところである。

<課題への対策（案）>

『三雲学校給食センターにおける米飯炊飯委託と、備品移設による作業スペースの確保』

⇒ 米飯委託を行うことで、作業スペース等の確保（調理能力の拡充）に繋がり、新センター建築までの人口増加対策を行う。